



佐藤 博 議員

## 木曾岬干拓地の活用計画の協議はどのようになっていくのか

**問**

木曾岬干拓地【】の活用計画等について、協議はどのようになっていくのか。

昭和41年に国が着手した干拓事業で、市の南西端に位置する。愛知・三重両県に広がる総面積443・4haのうち、市に属するのは80・9ha。県境決定後、12年度に両県が国から土地を買収した。17年度に当初の農業目的を変更し、野外体験広場等に暫定利用する計画を策定、事業化している。

## 整備が延長された状況である

**答** 市長

21年12月に「整備計画延期」と新聞に掲載された。経済不況等による（建設残土等を活用した）盛土が不足し、延期せざるを得ない現状にあるかと思う。市としては、必要な調整は窓口である愛知県として



かり話し合いをしていきたい。

## 輪中の郷を増築し定員増を

**問**

特別擁護老人ホーム輪中の郷【以下「輪中」】について聞く。

4年6月に開所した老人福祉施設で、社会福祉法人弥富福祉会が運営する。定員80人で大藤町に位置する。

## 市として定員増を要望した

**答** 副市長

- (1) 入所希望者が約140人待ちと聞いた。東側の余剰地に増設が検討できないか等の質問書を出したが、（弥富福祉会から）回答がない。市の行政運営に協力しないなら、借地料徴収を検討すべきではないか。
- (2) 国の低料金老人ホーム（の規制緩和による）促進施策を検討すべきではないか。

## 学校の統廃合を長期検討事項に

**問**

国は、適正な学校規模として1学校12から18学級と示している。

この基準から検証すると、十四山東部・西部小を統合することも必要ではないか。また大藤小と采南小をどうすべきか、長期検討事項として考えるべきではないか。

## 新校建設と並行して考えたい

**答** 市長

（25年度当初開校を目指し整備中の（仮称）第2桜小学校の）新校建設と統廃合は、同時並行的に地域、行政、教育委員会が一緒に話し合いながら、考えさせてもらいたいと思う。

- 無償で貸している。契約条項により、借地料請求、契約解除はできないと考えている。
- 答** 民生部長
- (2) 市としても輪中に